

平成29年度消費者教育推進講師派遣実績（概要）

団体名	小諸市立千曲小学校
テーマ	身に着けたい情報モラル インターネットの危険から子どもを守る親の責任
講師	一般社団法人セーフティネット総合研究所 派遣講師
内容	『ネットは危険がいっぱい』SNSの危険性と留意点 ・すれ違い通信、SNSについて ・スマホ、タブレット、音楽プレーヤー、ゲーム機などで撮影した画像について ・YouTubeなどの動画について ・ネット利用の身体への悪影響、今後の利用方法について 等
参加人数	51人（児童31人、教員12人、保護者8人）

団体名	長野市立裾花中学校（中学3年）
テーマ	計画性のない消費について
講師	長野県金融広報委員会 金融広報アドバイザー
内容	若者の自己破産や多重債務などのトラブルについて、モデルクラスの授業を通して指導内容、指導方法を学んだ ・多重債務問題に関する基礎的な知識の習得 ・教材及びワークショップ等の手法の知識習得
参加人数	33人（生徒30人、教員2人、コミュニティスクール役員1人）

団体名	長野県松本筑摩高等学校（定時制4年）
テーマ	生活設計の立て方
講師	長野県金融広報委員会 金融広報アドバイザー
内容	・契約や消費に関する学習と消費に関する生活管理の方法 ・「家計管理 個人ワークシート」による生活経済の計画・立て方の学習
参加人数	73人（生徒68人、教員5人）

団体名	長野県伊那養護学校（中等部1～3年、高等部1～3年）
テーマ	ケータイ、スマホの安全な使い方
講師	一般社団法人セーフティネット総合研究所 派遣講師
内容	・携帯、スマホの安全な使い方について ・個人情報漏れることの怖さについて ・携帯の身体への悪影響について
参加人数	80人（生徒60人、教員20人）

団体名	上伊那地区教育課程研究協議会 技術家庭科・家庭科委員会
テーマ	新学習指導要領で生かす消費者教育
講師	長野県金融広報委員会 金融広報アドバイザー
内容	・新学習指導要領の「衣食住の生活」と「消費者教育」を関連付けた、日常の授業で生かせる授業作りについて ・小学校と中学校での消費者教育の違いと実践
参加人数	42人（教員42人）

団体名	長野市PTA連合会 犀北ブロック協議会
テーマ	教育費の準備や家計について考えよう（第1部） おこづかいの使い方などを子供に教えよう（第2部）
講師	ファイナンシャルプランナー・キャリアカウンセラー 長野県金融広報委員会 金融広報アドバイザー
内容	・教育費の準備と貯蓄の仕方、奨学金や教育ローンの現状と活用などの話を通して、教育費の価値ある使い方と子供の将来の経済的自立に向けて考えた（第1部） ・小中学校別に、おこづかいの使い方について、子供への指導法を学んだ（第2部）
参加人数	153人（保護者141人、教員12人）